



市民体育祭の 開催に向けて

旭市が合併して5年が経過しようとしています。私も昨年8月から市政を担って10か月、さまざまな機会に市内を見て回り、この5年間ににおけるインフラ整備が、合併のメリットを最大限に活用しながら、バランスよく着々と進められているものと、感じているところであります。

特に学校の整備、道路、公園、中央病院の再整備事業、土地改良事業や駅周辺の環境整備など、合併したからこそできる事業が、基本構想に沿った計画の中で展開されているところであり、「合併してよかった」「住んでみたい」「住人でよかった」と思える環境ができてつづつあると、信じているところであります。また、市民の皆さんに心配を掛けている財政の問題も、健全性を判断する国の基準からみずべての数値で健全財政を維持しており、実質公債費比率も、平成21年度決算では18パーセントを下回る見込みであります。各種事業推進に伴う起債は一般分を最小限に抑え、大変有利な合併特例債の活用を心掛けているところであります。そんな5年間の過ぎ、これからのまち

づくり……、そのことを考えるとき、私の就任の最初の思いであります市民一人ひとりの心のつながり「絆づくり」が、これからの基本だと思っているところであり、市民の皆さんにも、ぜひご理解とご協力をいただきたいところであります。そのため今、市民体育祭の開催を目指しての実行委員会を立ち上げ、地区の区長さん方に説明会を開催しているところでもあります。各小学校単位15地区での対抗戦を柱にしながら、子どもからお年寄りまで誰でも参加できる種目やアトラクション、小・中学生による吹奏楽などの発表、直売コーナー、老人クラブのグラウンドゴルフ大会、地元出身のアスリートの紹介など、それらを編成して、交流の場にふさわしい東総運動場を舞台に開催したい、市民全体が集まったの体育の祭典を合併のシンボルとして盛り上げていきたい、そう思っているところであります。

関係の実行委員、諸団体、区長会の皆さん方に、そしてすべての市民に、重ねてご理解とご協力をお願いいたします。